



No.104

OCTOBER
2024表紙写真
退任式後見送られる辻一幸さん。

1980年に町長に初当選して以来、連続11期、全国最長となる任期を務め上げた辻さん。その晴れ陣も集まり、役場前はいつになく熱気で包まれていた。

1980年に町長に初当選して以来、連続11期、全国最長となる任期を務め上げた辻さん。その晴れ陣も集まり、役場前はいつになく熱気で包まれていた。

ひとりに優しく言葉をかける辻さんは、やかな表情と清々しい笑顔からは、全力で走り抜けた日々への誇りと充実感がじみ出ている。町民一人の姿に、周囲の人々の目には自然と感慨深い表情が浮かんでいた。

「町を守るには前に進むしかない」と象徴されるように、辻さんの44年は挑戦と前進の連続だった。南アルプスに抱かれた小さな町の栄枯盛衰を見つめながらも、未来へつなぎ続けたその軌跡を、本記事でたどっていく。

今日より明日つてね」——この言葉は挑戦と前進の連続だった。南アルプスに抱かれた小さな町の栄枯盛衰を見つめながらも、未来へつなぎ続けたその軌跡を、本記事でたどっていく。

辻一幸、 挑戦の軌跡

2024年11月15日、早川町役場



上流研の取り組みを
応援頂いています！



地域発展のお手伝い！地域の暮らしを守る！
早邦建設株式会社

【本社】〒409-2732 山梨県南巨摩郡早川町高住 645-27
TEL:0556-45-3000 FAX:0556-45-2208
【生コンクリートブランチ】TEL:0556-45-2700
<http://www.sohob3000.com/>



毎分 1,630L 湯温 52°C の極利貞大温泉では日本唯一を持つ新湯温泉
全てのお風呂、客室風呂、露天、シャワーに至るまで 温泉掛け流し
全館源泉掛け流しの宿
慶雲館

〒409-2702
山梨県南巨摩郡早川町高住 645-27
TEL:0556-48-2811 FAX:0556-48-2811 <http://www.keiunkan.co.jp>



早川町で感動体験を…
南アルプス生態邑
光源の里温泉 ヘルシー美里
南アルプス邑野鳥公園

ご予約・お問い合わせ
TEL:0556-48-2621
<http://www.hayakawa-eco.com/hmlsato/>



100ねんごも
またあした
瀬尾まいこ・作 くりはらたかし・絵
令和最大のベストセラー
『そして、バトンは渡された』
(文藝春秋)の
瀬尾まいこ初の絵本！
●定価：1,870円(本体1,700円+税)
岩崎書店 〒112-0014 東京都文京区関口2-3-3 白坂STビル7F
TEL:03-6626-5080 FAX:03-6626-5085



早川町特産品
観光PR
早川町の魅力を東京で発信します！
～お気軽にお問い合わせください～
ANNIVERSARY CONCIERGE
アニバーサリーコンシェルジュ
TEL:03-5823-4043



南アルプス街道の交通安全と
清流早川の自然を守ることを永遠のテーマに
地域社会の発展に貢献する事を目指します。
早川砂利協同組合
山梨県南巨摩郡早川町小林 26
電話 0556-45-2450

広告主募集

上流研では、本スペースまたは裏表紙に広告主を募集しています。

やまだらけ発行	広告料金	大きさ	データ形式
年4回(予定)	年間22,000円 (出版社さま年間33,000円)	幅63mm、高さ41mm	aiデータ(アウトラインしたもの) またはpdfデータ

ご関心のある方は下記問い合わせ先(NPO法人日本上流文化圏研究所)までお気軽にご連絡ください
電話:0556-45-2160 Eメール:info@joryuken.net

『やまだらけ』バックナンバーはこちら▶
<https://fm-hayakawa.com/fm/yamadarake>



編集後記 早川町に住み始めて約10年、辻一幸さんはずっと町長さんでしたが、知らないことが多く、今回取材を通してさまざまな一面を知ることができました。この記事をきっかけに、私自身もこれからの早川町に何ができるのかを考え、少しづつでも実践していくならと思いました。

発行元 / NPO法人日本上流文化圏研究所
住所 / 山梨県南巨摩郡早川町薬袋430
Tel:0556-45-2160
Fax:0556-45-2268
ウェブサイト
<https://joryuken.jimdofree.com/>



辻一幸の原点

山あいの少年、
広い世界を夢見る

Kazuyuki Tsuji

辻一幸



南アルプスの麓で、 未来を見据え希望を紡いた町長

の話しぶりからも、早くから周囲を引っ張る存在だったことがうかがえる。



昭和の新倉地内
東京電力第一発電所取水堰堤。
(『目で見るはやかわの風景と歴史』)

6つの村（本建村・五箇村・硯島村・都川村・三里村・西山村）が合併して新しい「早川町」が誕生したのは1956年。辻さんは高校生の時だ。当時、電源開発（やまだらけ36号参照）と林業の隆盛期。彼の心には、新生早川町の発展は間違いなく約束されていたかのように刻まれたといふ。

広い世界への一步、 そして帰郷

方の課題に目を向け、「過疎問題」をテーマに扱った。一方、当時両親は地元で新たにガソリンスタンドを開業し、旅館は甲府に2号店を出た。一方で、両親は地元で新規事業が軌道に乗っていなかった。そして、大学3年生のとき、家業を手伝うよう両親から打診を受け、なんとか東京の下宿先をたたみ早川町へ戻る決断をする。それでも、辻さんは大学を中退することは少なかつたとはいえ、早川町から東京の大学へ通うにはほとんど取り終え通学日数1日では足りない時代。この頃から「決めたことはやり切る」という辻さんらしい信念がうかがえる。

高校卒業後、辻さんは青山学院大学経済学部に進学。在学中は国際連合学生連盟という全国組織の事務局長を務め、安保闘争時代にライシャワー駐日アメリカ大使を講演に招くなど精力的に活動に取り組んだ。卒業論文では地

とともに生きてきた」と語る辻さんの言葉には、山村で生きる者としての誇りがにじむ。

しかし、木材輸入の全面自由化が始まると、徐々に情勢が変わり始める。安価で安定供給される輸入木材が市場を席巻し、国内木材の価格はしだいに下落。辻さんもその影響を肌で感じるようになり、やがて林業は衰退の一途をたどった。山の価値が失われていく現実を目の当たりにした辻さんは、「山村が切り捨てられていく現実を変えなければ」と強い危機感を抱く。この想いは、後の政治家としての彼を育む土壤の一つとなつたのだろう。

一方で、こういった地域での活動を通じて、彼はしだいに地元の人々の信頼を集めようになる。そして28歳で山梨県議選に初挑戦。しかし初めての選挙は苦い結果となつた。その後、早川町長選に初出馬し惜しくも敗北したものの、数十票という僅差にまで迫る健闘であった。その翌日から次の選挙に向けて活動を始め、1980年、満を持して辻一幸町長が誕生した。

辻町政前の日本と早川町の情勢(1940年~1980年)の年表

西暦(和暦)	辻さん動向	日本の情勢	早川町の情勢
1940年(昭和15年)	誕生	▶第二次世界大戦中	▶電源開発が進む
1945年(昭和20年)	5歳	▶終戦、戦後復興が始まり木材需要が急増	▶林業が盛んになる
1950年(昭和25年)	10歳	▶朝鮮戦争が勃発	▶西山発電所が完成(昭和20年代末)。建設作業に携わる人やその家族などで人口が増加傾向となる。新倉ではこの頃から1965年頃にかけて映画館、パチンコ屋、商店などが立ち並ぶようになり周辺の人々の生活の中心地となっていく
1955年(昭和30年)	15歳	▶高度経済成長期に突入	
1956年(昭和31年)	16歳	(1973年頃まで)	▶6つの村が合併して「早川町」が誕生 ▶町の人口は8000人台
1960年(昭和35年)	20歳	▶所得倍増計画が策定	▶町の人口が1万人を超える
		▶安保闘争が起こる	
1962年(昭和37年)	22歳	▶ライシャワー駐日米大使を大学に招く	
1963年(昭和38年)	23歳	▶4月、大学に通いながら早川町に拠点を移す	
1964年(昭和39年)	24歳	▶3月、青山学院大学経済学部商学科卒業	▶東京オリンピック開催 ▶木材輸入の全面自由化
		▶4月、早川町で木材の運送会社を起業	
1965年(昭和40年)	25歳		▶町の人口は6000人台 ▶発電所が無人化運営となり、人口流出が加速する
1968年(昭和43年)	28歳	▶県議選に初出馬(落選)	
1976年(昭和51年)	36歳	▶早川町長選に初出馬(惜敗)	
1980年(昭和55年)	40歳	▶早川町長選、当選(無投票)	▶町の人口は3000人台

1940年、早川町新倉で旅館を営む一家に生まれた辻一幸さん。この頃新倉は、町の発電所開発の中心地として栄えていた。銀座通りと呼ばれるメインストリートには映画館やパチンコ屋などが立ち並び、今まで想像できないほどに賑やいでいたそうだ(やまだらけ18号参照)。そんな環境で育った辻少年は、多くの刺激を得て、ついに「広い世界を見てみたい」という想いを抱くようになった。辻さんは、幼い頃から活動的だった。小学校では児童会長を務め、そろばん大会では優勝。中学・高校は下宿して甲府へ通い、学級委員や生徒会役員などを務め、リーダーシップを發揮した。「ませてたね」と笑う辻さん

町を守るリーダーとしての挑戦

地域をつなぐ挑戦と
嵐の試練

辻さんの町長としての最初の取り組みは、「南アルプス白鳳太鼓保存会」の創設だった。長野県の伝統的な御諏訪太鼓を参考に、早川町独自の太鼓文化を作り上げたこの取り組みは、町全体を活性化し海外公演を行うほどに。若者たちに新しい希望と誇りを与えた。

しかし、その後、早川町を未曾有の災害が襲う。1982年に台風が町を直撃。「昭和57年災」とも呼ばれ、壊滅的な被害をもたらした。しかし、死傷者が出なかつたのは幸いだつた。辻さんは被害状況を丁寧に把握し、「一緒に立ち上がろう」という言葉を町民に伝え続けた。そして町民たちも奮い立ち、復興への歩みを進めていった。その後も、何度も町は危

森林と共に
未来を見据える信念

追い打ちをかけ、住民の過疎化する。それでも彼は、「山に眠る豊かな森林資源を生かせば、再び活動を取り戻せる」と信じて模索を続けた。

辻さんというと、日本の森林の価値が失われゆく現状に誰よりも早く危機を感じて、警鐘を鳴らし模索してきた人もある。1960年の所得倍増計画が打ち出された時、「山村はダメになると思つた。林業で所得が倍増するわけがない」と山村の未来をすでに予測していた。そこへ1965年頃から木材価格の暴落や林業の衰退、水力発電所の無人化が

さらに、2010年に打ち立てた、早川町独自の「森づくり100年計画」も先進的な取り組みだった。当時、県に先んじて策定されたこの計画は、特に手が回らずに課題となっていた私有林の整備に着手するもの。荒廃した山林を再生し、防災機

半ばにある。定期的に内容を見直しながら、22世紀を見据えて進化を続けている。

能や水源涵養などの森林の役割を回復させると同時に、森を通して地域の活性化をはかつてきたり。また、「山の日」の制定も辻さんの提案から始まつた。「海の日」があるの

峡南地区植樹祭の様子。



コロナ禍中でオンライン会議をする辻さん。

辻一幸が築いた町の姿

辻さんの森林政策は早期に未来を見据えた持続可能な地域づくりの核となってきたと言えるだろう。

足元を見つめた

町づくりの歩み

また、町づくりを進めること」と捉え、むしろ旧村の魅力を見つけて活かす「旧村一拠点づくり」を軸に町を築いてきた。

「旧村一拠点づくり」とは、旧村ごとに地域の特色を掘り起こし拠り所となる拠点を作る施策。例えれば、奈良田には「奈良田の里」や「南アルプス山岳写真館（白旗史朗記念館）」、雨畑には「硯匠庵」や「ヴィラ雨畑」を整備。

辻さんが町長に就任した当時、町は一つにまとまっているとは言い難かった。「昭和の大合併」で6つの村が一つになってしまったものの、町民は自分の住む旧村以外のことを知らぬ、「町」という意識が希薄だったからだ。当時、役場の職員は、町民が旧村の昔話を語ることに否定的な態度を見せる場面も少なくなかつたといふ。しかし、辻さんは「町づく

ごとの歴史や文化が息づき、それぞれがちゃんと町の魅力を形作っている。さらに、辻さんは「南アルプス」の持つブランド力をいち早く着目し、町の主要道路に「南アルプス公園線」と愛称を付けるなど早川町が南アルプスの麓町であることを積極的にイメージ付ける取り組みを実施。2014年には町全域が「南アルプスユネスコエコパーク」に登録され、その自然と文化が名実ともに広く認めら

れるようになつた。

また、1999年から

2010年にかけて「平成の大合併」が全国で進む中、早川町は独立を貫いた。この合併は自治体間の行政効率化や財政基盤の強化を目的として進められたものには独立が必要」との信念を曲げることはなかつた。今「あの時の判断は大正解だつた」と笑顔で語る辻さんは、当時の選択は大正解だつた。そのため、唯一無二の存在として輝かせる礎となつた。

辻さんほど、町民にたくさん語りかけてきた町長が他にいるだろうか。

特に象徴的なのは、町の広報誌のコラム「こんにちは町長です」だ。就任直後から毎月欠かさず執筆し、44年間途切ることはなかつた。その中には社会情勢や町の出来事、行政の動きが綴られ、辻さんの想いや考えが町民に向かって丁寧に発信されて

いる。

上:早川南保育所の運動会での様子。
中:敬老の日の訪問での様子。
下:奥山梨はやかわ紅葉と食まつりでの様子。

03

辻一幸が築いた町の姿

辻さんの森林政策は早期に未来を見据えた持続可能な地域づくりの核となってきたと言えるだろう。

足元を見つめた

町づくりの歩み

また、町づくりを進めること」と捉え、むしろ旧村の魅力を見つけて活かす「旧村一拠点づくり」を軸に町を築いてきた。

「旧村一拠点づくり」とは、旧村ごとに地域の特色を掘り起こし拠り所となる拠点を作る施策。例えれば、奈良田には「奈良田の里」や「南アルプス山岳写真館（白旗史朗記念館）」、雨畑には「硯匠庵」や「ヴィラ雨畑」を整備。

辻さんが町長に就任した当時、町は一つにまとまっているとは言い難かった。「昭和の大合併」で6つの村が一つになってしまったものの、町民は自分の住む旧村以外のことを知らぬ、「町」という意識が希薄だったからだ。当時、役場の職員は、町民が旧村の昔話を語ることに否定的な態度を見せる場面も少なくなかつたといふ。しかし、辻さんは「町づく

機に直面する。2014年の記録的な大雪が降った際には、町が孤立し、停電が発生（やまだらけ75号参照）。真冬の寒さが町民の命を脅かす中、辻さんは迅速な復旧活動を指揮し、町の安全を守った。そして、2020年のコロナ禍によって観光業が停滞し、そこはかとない不安が町全体を包んだ際にも、「乗り越えましょう」と力強く住民を励まし、共に困難に立ち向かった。



言葉で紡ぐ 町民との絆

辻さんほど、町民にたくさん語りかけてきた町長が他にいるだろうか。特に象徴的なのは、町の広報誌のコラム「こんにちは町長です」だ。就任直後から毎月欠かさず執筆し、44年間途切ることはなかつた。その中には社会情勢や町の出来事、行政の動きが綴られ、辻さんの想いや考えが町民に向かって丁寧に発信されて

いた。

町内のさまざまな行事や、学校ごとの式典、運動会などの行事でも、辻さんは必ず出席し、励ました。スピーチでは原稿を持たず、目の前の相手に語りかけるように話すそのスタイルは、人々を惹きつける力があった。聴衆の心に届く力強い言葉は、市民にとって大きな支えとなつてだろう。

辻さんが町長に初当選した当时、彼の訓示を聞いたある市民は「これから新しい風が吹くかもしない」と期待を抱いたという。そして44年を経た現在、「早川町は小さいけれどキラリと光る町で、住む人がみんなニコニコしている。辻さんのおかげだ」と語る。

辻さんが町長に就任してから44年。その間、多くの出来事があり、町の発展に貢献してきた。しかし、彼の言葉が町民だけではなく町外の人にも響いていたことを示している。



退任式後、市民と握手を交わす様子。

未来へのバトン

のかー」そんな疑問が外部から投げかけられるることもあつたかもしれない。しかし、辻さんは、それらの夢の実現に一つひとつ尽力することで応えてきた。

6

で彼の退任を知り、いてもたつてもいらねず手紙を贈った。「辻さんの情熱が伝わり、胸が熱くなつた」と綴られたその手紙は、彼の言葉が町民だけでなく町外の人にも響いていたことを示している。

「町を守るには前に進むしかないんだよ、早川町は。少しでも、昨日より今日、今日より明日つてね」と語った辻さん。斬新なアイデアと搖るぎない行動力で市民を導き続けたその姿勢には、町の栄枯盛衰を見つめながらも活力で町民を導き続けた未来を見据え、歩み続けた彼の信念が凝縮されている。

辻さんの44年間は、挑戦と革新の連続だった。その知恵は町の枠を超えて、国政にまで影響を与えるほど。森林環境税の創設や国民の祝日「山の日」制定の提案——どれも、彼の先見の明と圧倒的なエネルギーによって実現した成果だ。これら取り組みは、早川町の未来を切り拓く原動力となり、市民に希望を与えた。

一方で、辻さんは厳しい現実を直視することも忘れない。「過疎は単には止まらない。でも町を守るために進み続けるしかない」と語り、困難を受け入れながらも、町民一人ひとりが幸せに生きられる未来を目指した。「衰退しかないだろう山村で、夢や希望を語ることが本当に意味を持つ」と語る辻さん。

また、「退任後は何をしよう」と冗談めかして楽しそうに語る辻さん。その笑顔からは、役職を離しても、なお町に寄り添い続けたいという温かな想いが伝わってきた。一方で、「新しい町政に全面的に協力するわけだけど、これからも革新的なことをしていきたい」という温かな想いが伝わった。静岡の町名が冠された、静岡方面や甲府方面とのアクセスを飛躍的に向上させた。

7

南アルプス市を結ぶ周遊道路の建設も進んでいた。これは、行き止まりである奈良田の交通事情を一変させ、早川町を抜けた甲府へのアクセスを劇的に短縮する画期的なルートだ。さらに、リニア中央新幹線の東京—名古屋間の建設決定にも、辻さんの働きかけが大きく寄与した。



小学生の役場見学の様子。

辻町政44年間の主な出来事(1980年~2024年)

辻町長 就任

1980年(昭和55年)

▷「南アルプス白鳳太鼓保存会」結成

▷町民憲章を制定 81年

82年 ▷「昭和57年災」台風による壊滅的被害が発生

▷「奈良田の里」「歴史民俗資料館」「白旗史朗山岳写真館」オープン

84年

85年 ▷「ヴィラ雨畠」の完成

86年

▷「南アルプスプラザ」の完成

▷東京都品川区と「ふるさと交流協定」を結ぶ

1990年(平成2年)

▷「ヘルシー美里」宿泊施設完成 91年

92年 ▷そば処「アルプス」完成

▷国の重要伝統的建造物群保存地区に赤沢が選定される

93年

95年 ▷「野鳥公園」オープン

▷第1回「紅葉とそばまつり」開催

96年

97年 ▷「白鳳の水工房」竣工

▷「オートキャンプ場」オープン

2000年(平成12年)

▷「硯匠庵」オープン

▷「平成の大合併」で単独での町政運営を選択

01年

02年 ▷奈良田-南アルプス市を結ぶ道路開通を目指す同盟会の発足

▷「西山農園」開園

▷新倉断層「静岡-糸魚川構造線」が国の大記念物に指定

05年

▷「西山温泉 湯島の湯」完成

▷「そば処 武蔵屋」オープン

▷「日本で最も美しい村連合」に加盟 09年

2010年(平成22年)

▷「草薙温泉」リニューアルオープン

▷「早川創造空間cocoroto」オープン

▷「麓の直売所」カフェオープン

▷「赤沢宿 宿の駅 清水屋」オープン 13年

14年 ▷記録的大雪災害が発生

▷早川町全域を含めて

「南アルプスユネスコエコパーク」に登録される

▷「南アルプスプラザ」リニューアルオープン 18年

▷町役場新庁舎が竣工

2020年(令和2年)

▷中部横断自動車道の山梨-静岡の全区間が開通 21年

24年 辻町長 退任